

令和7年度 有明中学校学校経営方針

1 学校経営の基盤

- (1) 公教育の理念の下、日本国憲法や教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の関係法令、及び県・地区・市の教育施策に則り教育活動を推進する。
- (2) 本校の歴史と伝統を受け継ぎながら、生徒や地域の実態をふまえ、保護者や地域の期待と信頼に応える学校づくりを行う。

2 学校経営方針

全教職員の協働を基に、全生徒が安全・安心で居場所のある学習環境で共に学び合い、高め合える明るく活気のある校風・文化を醸成し、「生きる力」を育む教育活動を工夫・展開する。

- (1) 生徒一人一人に生きることの意欲や喜び、学ぶ楽しさを味わわせ、主体性を発揮させる教育活動を推進する。(学習者主体の授業)
- (2) 人権尊重の理念を踏まえ、自分を大切にすると同時に、他者への思いやりを大切に育てる態度を育成する。(生徒指導の徹底と人間教育の推進)
- (3) 教育者としての教育愛と使命感を自覚し、自己研鑽と融和を図り、生徒とともに汗を流す教育を推進する。(師弟同行の取組による「学ぶ姿勢」の醸成)
- (4) 日本の農業の発展のために活躍した偉人を排出した本校区への誇りと愛着をさらに高める取組を推進することで活力ある学校づくりに努める。(郷土愛の育成と未来の創造)
- (5) 家庭や地域社会及び関係機関との連携を深め、地域に根ざし、開かれた教育を推進する。(学校の良さ、素晴らしさの情報発信)
- (6) 社会の一員としての自覚をもち、社会に奉仕する心(ボランティア精神)を育成する。(地域と連携した中学生の活躍の場、地域の方々との交流活動)

3 学校教育目標

豊かな心で自ら学び考え行動できる生徒の育成

4 めざす姿

- (1) 有明中学校区学校運営協議会のめざす子ども像

郷土に誇りをもち、未来に向かって、他と共に、自ら気づき考え行動できる有明の子

- (2) めざす生徒像 <校訓>

- | | |
|---------------------|------|
| ア 自分からやるべきことはやる生徒 | <自主> |
| イ どんな困難にも負けずに挑戦する生徒 | <不屈> |
| ウ 他を思いやり協力する生徒 | <協力> |
| エ 心も体も健康で大切にする生徒 | <健康> |

- (3) めざす学校像

- ア 夢と希望を育む学校
- イ 潤いのある美しい学校
- ウ 礼儀正しく規律ある学校

- (4) めざす教師像

- ア 指導力を身につけた教師
- イ 積極的に生徒と関わる教師
- ウ 日々研鑽に励む教師
- エ 生徒、保護者、地域に信頼される教師

- (5) めざす保護者像

- ア 子どもと朝夕の会話に取り組む保護者
- イ 決まった時間に朝食をとらせ、ゆとりをもって登校させる保護者
- ウ 家庭学習の習慣を身に付けさせる保護者
- オ 学校行事や授業参観などに積極的に参加する保護者

【生活指針】	<p>時を守り， 時間を守り，時間いっぱい努力して有意義な学校生活を送る</p> <p>礼を正し， 場に応じた礼儀作法（心のこもったあいさつ，適切な服装や言動）</p> <p>場を清める 学習する場の整理整頓，美化，安全確保，適切な雰囲気づくり</p>
【T・G・C】 Time（時間） Greeting（あいさつ・服装） Clean（清掃）	

5 重点課題

- （１）確かな学力の定着と向上
- （２）豊かな心の育成と人権教育の推進
- （３）体力・気力の向上と健康教育の充実
- （４）学校と地域で育む自立と共生の心の醸成
- （５）業務改善の推進と教職員の資質向上

6 努力点と具体的方策

（１）確かな学力の定着と向上	
<p>① 「学習の５則」を踏まえ、学習規律の整った学習環境で、互いに認め合い、学び合う授業づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「２分前着席１分前黙想」、「忘れ物０」、「立腰」、「時間を守る意識」の共通実践 <p>② 特別支援教育に係る支援体制の確立と個別最適な学びに応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育委員会の充実と生徒本人と保護者のニーズを踏まえた個別指導・支援計画実践と共有 ・ ユニバーサルデザイン(UD)の視点を踏まえた校内設営・授業づくり ・ 関係機関との連携による専門的で具体的な支援 <p>③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習者主体の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「先生は黒子に徹する」「主体的な活動を実現させるための準備と配慮に注力する」授業への取組の推進（生徒指導の視点） ・ 諸検査や定期テスト等の適切な分析・活用や月１回の学力向上推進委員会の機能化 <p>【授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人用タブレットを含む授業におけるＩＣＴ機器の効果的活用の実践 ・ めあて・課題の提示 ＜課題解決の見通し…主体性＞ ・ 学び合いの場の設定 ＜自分の考えを持たせる＞＜他を認め、助け合う姿＞ ・ まとめの板書 ＜課題との整合性、「教科の見方・考え方」を踏まえた簡潔な授業のポイント＞ ・ 振り返りの場の設定 ＜メタ認知：何を理解できたのか・どのように活用できそうかなど…生きて働く「知識」＞ <p>【家庭における学習習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新ＫＳちょうの取組を通じた家庭学習の充実 ・ 家庭学習「学年×３０分＋６０分」、ノーメディア週間の家庭と連携した取組（情報発信） <p>【定着や補充のための取組の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的知識や語彙力の定着と読みとる・聞く・書く・伝える力の育成 ・ コグトレの取組や「朝学習」「学びの時間」の内容の改善・充実（あと１問！の取組） ・ 英語検定や漢字検定等の受検の推奨と取組への指導の工夫 ・ 図書紹介の推進や学級文庫の充実、読書への興味・関心の喚起の工夫 	
（２）豊かな心の育成と人権教育の推進	
<p>① 「生活のしおり」を踏まえた基本的生活習慣の確立と豊かな心を育てる指導の充実</p>	

- ・ 一人一人が自他を尊重する落ち着いたある学習環境・文化（学級・学校の支持的風土）の醸成
 - ・ 気持ちの良いあいさつ（自分から、相手の眼を見て、大きな声で、笑顔で）
 - ・ 時間を守る、そろえる、T G Cの師弟同行に努め、落ち着いた美しい学習環境の構築
 - ・ 家庭との連携による適切なメディア機器の使用についての取組（生活習慣の乱れ防止）
 - ・ 自転車通学のきまりやルール周知と家庭との連携した安全指導、P T Aや地域と連携した登下校の安全確保
- ② 生徒指導委員会・特別支援委員会の機能化と全職員による共通理解・共通実践
- ・ 「学校楽しいーと」や教育相談の活用、日常の観察、小中間の情報交換、家庭や関係機関（S S W・S C等）との情報交換
 - ・ 生徒個別・集団の特性や実態把握をふまえた居場所と絆づくりを基盤とした学級経営
 - ・ いじめ防止基本法に基づくいじめや不登校、問題行動など早期発見・対応、いじめ0行動宣言
 - ・ 生徒の意欲や主体性を育む学校行事や生徒会活動、学級活動等での生徒の役割づけや適切な助言と承認「自己存在感」「自己肯定感」「共感的な人間関係」「自己決定」
 - ・ 相手を尊重した丁寧な言葉遣いと聞く態度の指導（望ましい言語環境）
 - ・ 青少年赤十字の精神「気づき・考え・行動する」を意識した生徒会活動の工夫・改善や主体的活動の推進
- ③ 学校全体で取り組む道徳教育及び道徳科の授業づくり
- ・ 全教育活動を通して自他の命や人権を尊重する教育活動の工夫
 - ・ 教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係づくりを基盤とした全教育活動を通した道徳性の涵養
 - ・ 人権や生命尊重等に係る講話「命の教育（がん教育等）」「性教育（デートDVやL G B T）」等の企画、各教科・領域における教科横断的な人権教育の推進
 - ・ 人権に関する書物の環境整備（学校図書館）や読書活動の充実
- ④ 実社会や本物に触れる体験を通じた豊かな心の涵養
- ・ 職場体験学習、宿泊学習、職業講話、生き方の講話、高校説明会、先輩に学ぶ、高校の出前授業、体験入学、芸術鑑賞等の体験活動や外部人材に触れる啓発的な体験の推奨・企画、通山・有明両校区の地域行事への協力（地域貢献）
- ⑤ 教育活動におけるキャリア教育の視点に立った進路指導の工夫・改善
- ・ キャリアパスポートを活用した計画的で系統的な進路学習の研究、進路目標設定の働きかけの工夫
 - ・ 進路情報の正確な収集と適切な活用（保護者への情報発信含む）及び進路先の選択に関する指導の充実
 - ・ 進路への具体的な動機付けや目標設定、望ましい勤労・職業観の育成につなぐ啓発的体験活動の推進

（３）体力・気力の向上と健康教育の充実

- ① 感染症の感染防止等の保健指導・管理上の課題の情報収集・提供、適切な対応に努める。
- ・ 新型コロナをはじめとする感染症対応についての知識・理解の推進
 - ・ マスク着用やこまめな手洗いうがい、毎朝の検温等に対する学校全体の意識の維持、健康観察、こまめな換気等の日常活動の徹底
 - ・ ウィルス感染や異物混入防止を意図した全職員による給食指導における衛生管理の徹底
 - ・ むし歯、視力低下等の早期治療及び家庭と連携した治療推奨の取組、ブラッシング、シュガーコントロール等の適切な啓発によるむし歯予防の指導の充実
 - ・ 事故や傷病、おう吐、アナフィラキシー等発生時の適切で迅速な処置と保護者や関係機関への連絡等、保健管理に係る職員の共通理解
 - ・ 「がん教育」や「性教育」、「薬物乱用防止教育」等の今日的課題をふまえた自他の健康と命の大切さを考える諸指導の医学的、科学的な理論も踏まえた教科横断的な実施
- ② 校内外の計画的な安全点検の実施により、日頃から安全指導の徹底を図る。

- ・ 月1回の安全点検の確実な実施と、職員間や学校と関係機関間の「報・連・相・確」による迅速な措置と見届け
 - ・ 危険予知能力の育成をふまえた実態に応じた避難・防災訓練の工夫と実施（自分の身は自分で守る）
 - ・ 登下校の定期的な安全指導の実施（ヘルメット着用の指導の徹底、自転車点検、道路や交通量を踏まえた生徒自身の安全への意識の高揚、家庭への呼びかけ、地域の見守り促進）
- ③ 「早寝・早起き・朝ごはん」に象徴される基本的な生活リズムが成長に与える影響について生徒や保護者に啓発するとともに、自ら適切な生活リズムの確立や維持に努める生徒の育成に努める。
- ・ 睡眠時間の確保と朝ごはん摂取の重要性についての周知活動やPTAとの連携
 - ・ 生活リズム調査による生徒へのフィードバック及び生徒自身に適切な生活リズムを考えさせる機会の設定（メディアコントロール）
 - ・ 学級活動と保健（体育）の指導における教科横断的な取組の工夫
 - ・ 家庭と連携したスマホ等の正しい利用について指導の工夫
 - ・ 学級PTA・学年PTAでの保健分野の工夫や学校保健委員会の充実
- ④ 教科指導を核とした主体的な体力づくりや体育的行事、部活動等を通して体力・気力づくりの充実を図る。
- ・ 「体力アップ! チャレンジかごしま（8マン）」等の体力向上施策の推進
 - ・ 体力・運動能力調査をふまえた個別課題の設定、補強運動の設定と見届け
 - ・ 自力登校や昼休みの校庭利用等を通じた体力づくりや体力・健康維持の指導推進
 - ・ 部活動ガイドラインを踏まえた適切な部活動指導のあり方の工夫

（４） 学校と地域で育む自立と共生の心の醸成

- ① コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会と「有明中校区として育てたい子ども像～郷土に誇りを持ち、未来に向かって、他と共に、自ら学び考え行動できる有明の子」を熟議・共有し、将来の社会の担い手である生徒に「自立と共生の心」を育成・涵養する教育活動の展開と情報発信に努める。
- ・ 学校運営協議会とPTAとリンクした実働する組織づくりなど、教育活動充実のために学校と地域が協働態勢で機能するための仕組みづくり
 - ・ 学校運営協議会での熟議を通じ、地域で受け入れる職場体験学習や、郷土学習の講師招聘など、地域人材を活用した教育活動の工夫
 - ・ 諸教育活動での地域住民・先輩との交流、県民週間での地域住民の参観、総合的な学習の時間等での地域人材の講師招聘や教育素材の提供ができる場の工夫
 - ・ 有明中ホームページや学校だより等による情報発信と啓発
 - ・ 有明ブロック小中連携スタンダードの推進
 - ・ 教職員や生徒の地域行事等への積極的な参加（地域の教育力を生かした取組）

（５） 業務改善の推進と教職員の資質向上

- ① 業務改善の取組による適切な勤務時間と健康の保持・増進と教育の質の向上と維持に努める。
- ・ 学校全体で取り組む1アクション→水曜日の定時退校＋ノー部活デー
 - ・ 部活動ガイドラインの確実な実施（1週間内に2日の休養日）
 - ・ かごしま県教員等育成指標・研修計画の推進、校務分掌の職員相互による高い協働意識
- ② 保護者や地域に信頼される学校の信頼される教師として資質の向上、服務規律の厳正確保を図る。
- ・ 授業を通じた研修やその他の研修へ外部講師を招聘するなど計画的な研修の機会の設定
 - ・ 個人研究等の充実（教材研究の充実、読書の推進、教育論文への積極的な応募等）
 - ・ 交通法規遵守や交通事故防止、体罰の防止
 - ・ 親身になった対応と適切な接遇